



2012年12月3日

2012年「夏休みこどもミニ作文コンクール」 全国優秀作品集を配布

～新設「きずなの部」全国きずな賞・きずな賞 全20作品を掲載～

第一生命保険株式会社（社長 渡邊 光一郎）は、2012年「夏休みこどもミニ作文コンクール」（朝日学生新聞社共催）で選出された全国優秀作品集を作成しました。2012年12月3日（月）より、当社の生涯設計デザイナーが配布します。作品集には「朝日小学生新聞賞」4作品、「全国最優秀賞」10作品、「全国きずな賞」1作品、「きずな賞」19作品の全34作品を掲載しています。

また、朝日小学生新聞ホームページ「こどもアサヒ」内特設ページ（<http://www.asagaku.com/>）では、上記34作品の他、全国優秀賞75作品をあわせた109作品を公開しています。

<「きずなの部」を新設>

当社は今年9月15日に創立110周年を迎え、「安心の絆」をテーマに、保険というかたちある「安心」のお届けを通してお客さまとの絆をより確かなものにすることを掲げました。また、東日本大震災以降、改めて家族や愛する人々との絆の大切さが見直されています。そこで今年のコンクールでは「ぼくのゆめ、わたしのゆめ。」の部に加えて、ご家族、お友達など大切な人との「きずな」や「つながり」を感じたできごとをテーマにした「きずな」の部を新たに設け、作品を募集しました。

<全国きずな賞 受賞作品>

ぼくは、しんさいのあとパパとやくそくしたことがあります。パパが、しごとでいえにいないときは、ぼくが、ママといもうとのなっちゃんをまもることです。ぼくは、男の子だから、ぜったいに二人の手をはなしません。 全国きずな賞 福島市 杉妻小学校 一年 菅野 琉信 君

《夏休み子どもミニ作文コンクールとは》

本コンクールは毎年夏休みの時期に、小学6年生までのお子さまを対象に募集する100字以内の作文コンクールです。今年は7月2日から9月3日までの応募期間に約14万人^(※)のお子さまから応募が寄せられ、大好評のうちに終了しました。

(※) 当コンクールは作文と合わせてぬり絵の応募も受け付けており、作文、ぬり絵の両方、作文、ぬり絵のどちらかでも応募が可能。応募人数はその合計数。

2012年 夏休み子どもミニ作文コンクール概要

1. 基本構成 全国の小学6年生までのお子さまを対象に100字以内の作文を募集、優秀作品を決定。応募者全員に作品の原文をラミネート加工してプレゼント。
2. 応募期間 2012年7月2日～9月3日
3. 募集テーマ 「ぼくのゆめ、わたしのゆめ。」 「きずな」
4. 各賞
＜「ぼくのゆめ、わたしのゆめ。」の部＞
朝日小学生新聞賞
全国最優秀賞
全国優秀賞

＜「きずな」の部＞
全国きずな賞
きずな賞

＜ぬり絵の部＞
全国優秀賞
5. 審査員 おち とよこ（絵本・児童書作家）
正本 ノン（作家）
松本 宏樹（朝日学生新聞社）
北村 博明（第一生命保険株式会社 生涯設計開発部 次長）

◆ミニ作文コンクールの応募に関するご照会：

「担当の生涯設計デザイナー」または

「第一生命オフィシャルホームページ」

<http://event.dai-ichi-life.co.jp/campaign/minisaku/index.html>

※作品集は「子どもアサヒ」内特設ページにて全ページご覧いただけます。